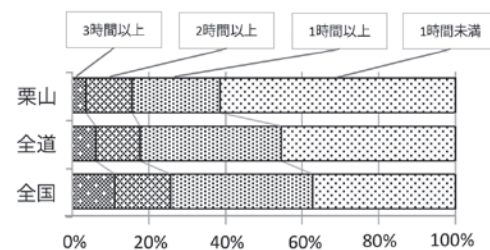
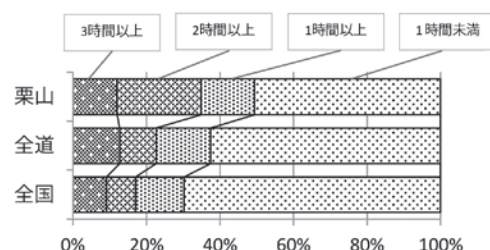


【図2】小学生学校生活状況調査結果

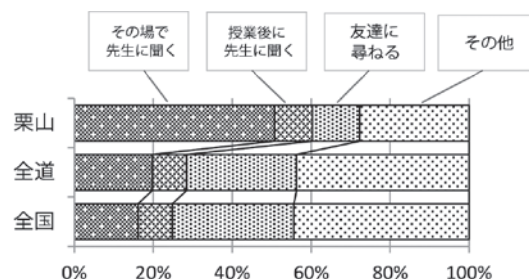
質問1. 学校以外でどのくらい勉強しますか



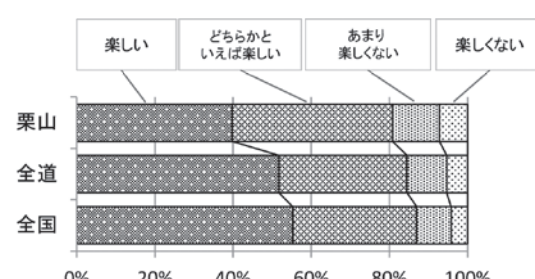
質問2. 普段どのくらいTVゲームをしますか



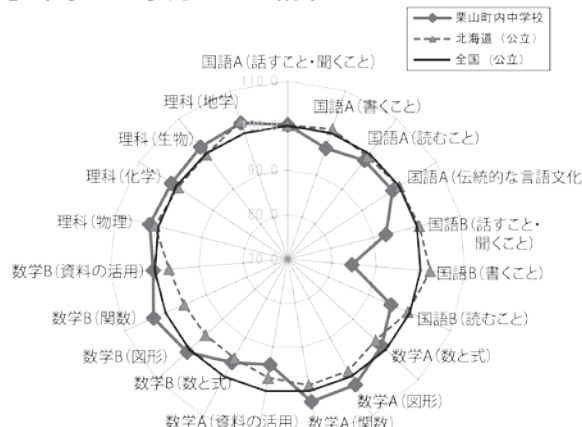
質問3. 授業でわからないことがあったらどうしますか



質問4. 学校に行くのは楽しいですか



【図3】中学生の学力テスト結果



中学生の学力は、ほぼ全国の平均正答率と同じような状況にあり、全体的に確実な学力を身に付けつつある様子がうかがわれます。

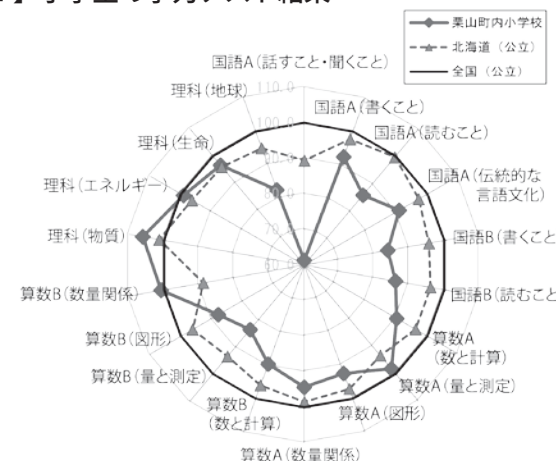
結果(図3)を見ると、理科では全領域、数学Aと数学Bでは図形や関数が全国の状況を上回っています。しかし、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、数学Aの「資料の活用」、数学Bの「数と式」が課題となっています。

小学校の調査結果と同様に中学校でも、国語の「書くこと」が共通の課題となっています。このようなことから町内の小・中学校では、「ノート指導」に力を入れています。

中学生の学力が全国平均と並ぶ「書くこと」の指導に力を!



【図1】小学生の学力テスト結果



小学生の学力が全国平均を下回る学力の向上が課題に!!

小学生の学力は、全国の平均正答率を下回り、確かな学力の向上が重要な課題と捉えています。

結果(図1)を見ると、理科(物質、エネルギー)や算数B(数量関係)は、全国を上回っていますが、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」が課題となっています。

生活習慣と授業の改善が課題 子どもたちの抱える課題とは?

次に、小学生の学習状況(図2)ですが、「学校以外でどのくらい勉強しますか」という質問では、本町の児童の勉強時間は、全道や全国の児童に比べ少ない状況があります。反面、「普段、どのくらいTVゲームをしますか」の質問では、全道や全国の児童に比べ長いという結果が見られます。

学校の授業の予習や復習を必ず行うという学習習慣の育成など、計画的な時間の過ごし方を身に付けさせることが必要です。

また、「授業でわからないことがあったらどうしますか」という質問では、「先生に聞く」と回答した児童が6割を超え、全道や全国の傾向と大きな違いを見せています。

このようなことから学校では、授業の初めにねらいを示し、授業の終わりに学習内容を振り返るなど、授業の進め方を工夫しています。

一方、「学校に行くのは楽しいですか」という質問では、「楽しい」と回答した児童は、全道や全国に比べ少ない状況が見られます。

全国学力・学習状況調査

町では、小学校6年生および中学校3年生を対象に、国語A、国語B、算数A、算数B、理科の学力と学習状況を調査しています。(Aは知識、Bは活用に関する問題です)



町内の小・中学校では、毎年、学力や学習状況、体力・運動能力、運動習慣などの調査を行い、児童生徒の学力や体力の把握に努めています。

今号では、調査結果の概要を報告し、今後の児童生徒の健やかな成長に役立てようと思います。

平成27年度教育委員会統計調査報告

【問い合わせ】町教育委員会学校教育グループ ☎ 72-1117

栗山町生涯学習情報

マナビイ

栗山町教育委員会
総合福祉センター「しゃるる」
TEL72-1117 FAX72-6522

運動を始めるきっかけは、「家族の勧め」や「家族と一緒に運動する機会」にあると言われます。小・中学校ともに男子は、「家族からの積極的な運動の勧め」や「家族と運動する頻度」が多いと回答しています。このことが比較的高い男子の体力・運動能力の結果につながっているものと思われます。昨年の調査では、「中学校女子の運動離れ」の顕著な傾向が見られましたが、それを裏付けているようにも思われます。

このようなことから本町の小・中学校では、児童生徒の規則正しい生活習慣を培うために家庭と連携協力して、「生活リズムチェック」の取り組みを行っています。また、「体

**運動のきっかけは家族
規則正しい生活習慣も大事**

の児童生徒は、「TVなどの視聴時間」や「ゲームをする時間」が長いと言われてきましたが、中学校女子に少し変化が見られます。

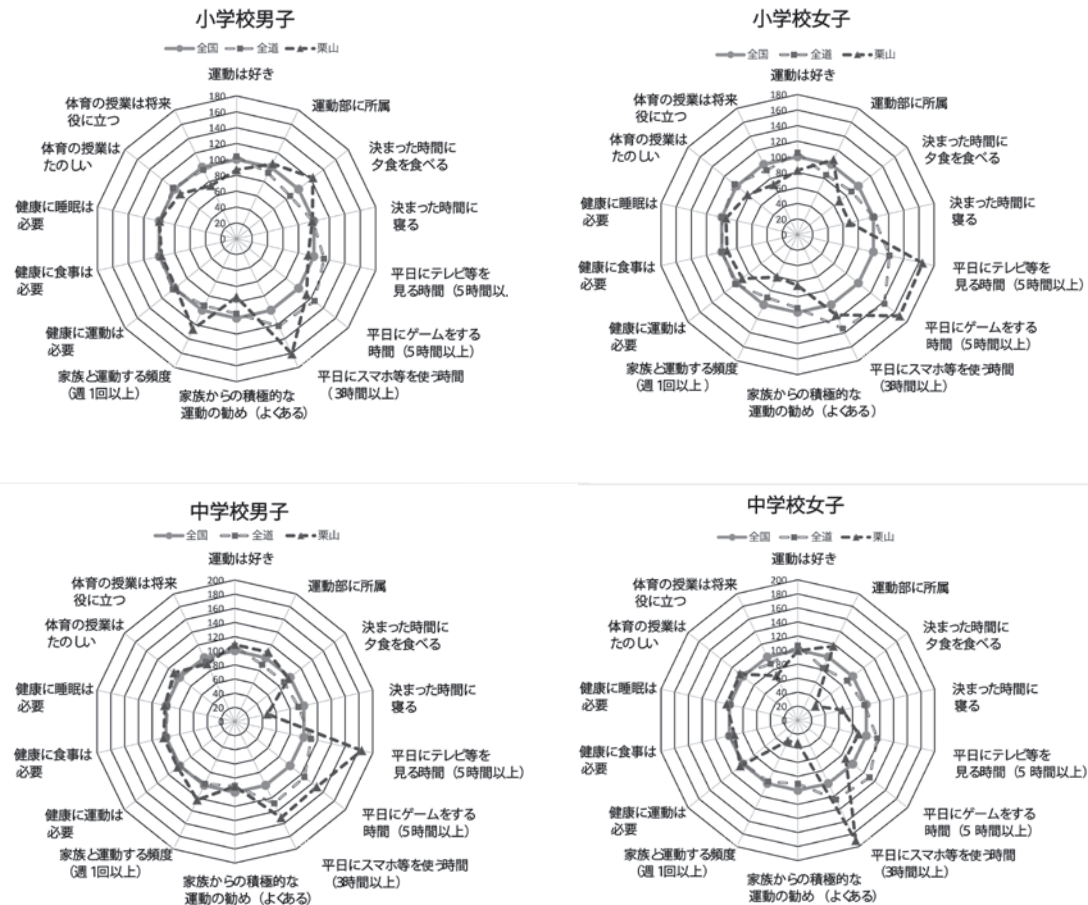
しかし、「平日のスマートフォン（スマホ）などの使用時間」を併せて見ると、これらに費やす時間が依然長いという状況があります。

育の授業は楽しいですか」「体育の授業は将来役に立つと思いますか」という質問では、肯定的な回答の割合が中学校男子を除いて全道や全国より少ない傾向になっています。

体育の授業は、児童生徒が生涯にわたって運動に親しみ、その楽しさや喜びを味わうことができる能力や態度を育むことが目標の一つです。



【図5】運動習慣調査結果

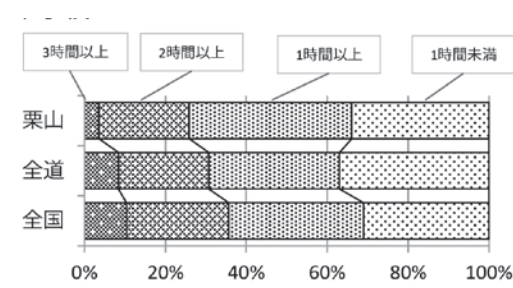


小学校で「体育の授業は楽しい」「将来、役に立つ」と回答した児童の割合が、全道や全国より少ないのが気になります。

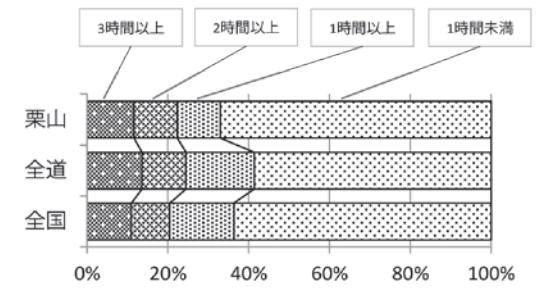
学校では、ねらいをはっきりと示し、友達と助け合いながらできないことができるようになったと実感できる体育の授業を目指しています。

【図4】中学生学校生活状況調査結果

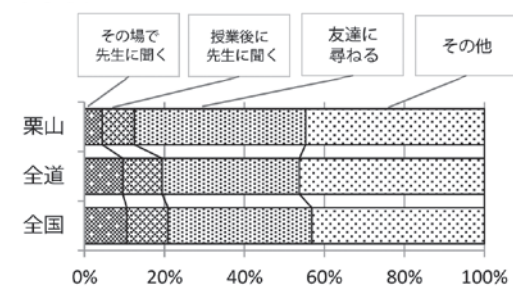
質問1. 学校以外でどのくらい勉強しますか



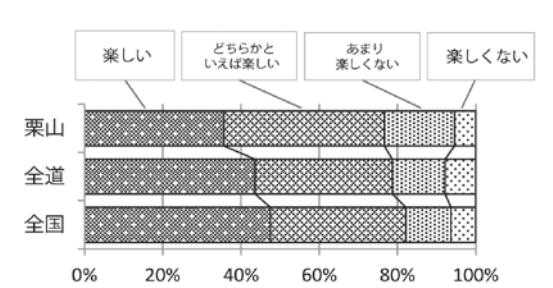
質問2. 普段どのくらいTVゲームをしますか



質問3. 授業でわからないことがあったらどうしますか



質問4. 学校に行くのは楽しいですか



生活習慣と授業の改善が課題
子どもたちの抱える課題とは？

学習状況（図4）を見ると、「学校以外でどのくらい勉強しますか」という質問では、小学生と同様に全国の生徒の勉強時間に比べ少ない状況にありますが、「普段、どのくらいTVゲームをしますか」の質問では、全道の中学生より少なく、全国の中学生とほぼ同様の状況が見られます。

他の調査項目では、授業における学習内容の振り返りや家庭での予習や復習など、中学生の計画的な学習の様子がかがわれ、小学生とはやや違う傾向を見せています。

なお、小学校で6割を超えていた「わからないことは先生に聞く」と回答した割合は、中学校では全道や全国より少なく、「友達に尋ねる」と回答した生徒の割合が多くなっています。

学校生活は、「学校に行くのは楽しいですか」という質問では、小学校と同様に「楽しい」と回答した生徒の割合は全道や全国より少なくなっています。

小・中学生の運動習慣
スマホやテレビの時間が増加！

児童生徒の運動習慣などの結果を図5にまとめました。この中で、「運動は好き」と回答した割合は、中学校男子が全国の平均を超えています。が、小学校男女と中学校女子は全国の平均を下回っています。「運動部（少年団）に所属」する割合は、小・中学校ともに全国平均を大きく上回っています。

健康の三原則といわれる運動、食事、睡眠に関する調査では、「決まった時間に夕食を食べる」や「決まった時間に寝る」などの項目で、小学校男子の健康的な状況がかがわれますが、一方、小学校女子と中学校男女の生活状況が気になります。

また、これまでの各種調査で本町

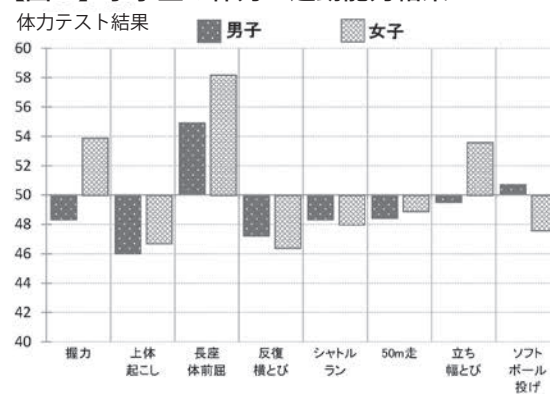
体力・運動能力、運動習慣調査は、小学校5年生と中学校2年生を対象として、体力テスト（8種目）と意識調査を実施しています。

小・中学生の運動能力
全国平均を超えるものも！

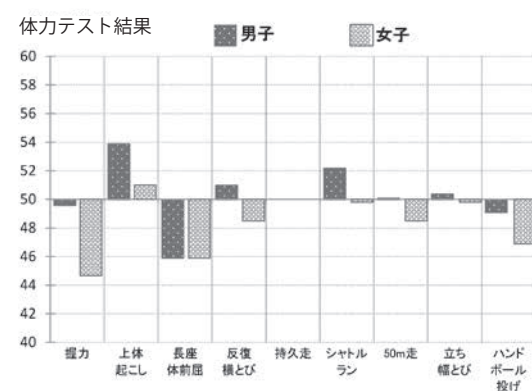
児童生徒の体力・運動能力は、小学生男女の「長座体前屈」、女子の「握力」と「立ち幅跳び」が全国の平均を超えています（図6）。また、中学生は、男女の「上体そらし」、男子の「反復横跳び」「シャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」が全国の平均を超えています（図7）。

※全国平均は50%

【図6】小学生の体力・運動能力結果



【図7】中学生の体力・運動能力結果



健全な生活習慣を
身に付けさせるために

私たち大人の共通の願いは、子どもたちがよく遊び、よく学び、心身ともに健やかに育つことにあります。子どもたちが、自らの良さや可能性を信じて、将来の夢や希望に向かって生き生きと活気あふれる日々を過ごしてほしいと願っています。そのためには、次のような意欲的な学習習慣や規則正しい生活習慣を身に付けることが必要です。

理想的な学習・生活習慣を
身に付けよう！

①学年に応じた学習習慣を身に付けさせましょう。
○学年×10分+10分の学習（小学生の場合）

②「生きる力」を支える運動習慣を身に付けさせましょう。
○1日1時間以上の運動

※徒歩による登下校、雪かきなども運動です

③「早寝早起き朝ごはん」の生活習慣を身に付けさせましょう。
○TVやゲーム、スマホは1時間以内の生活

④人生を豊かにする読書習慣を身に付けさせましょう。
○1日10分の読書

※今回の調査で「普段、どれくらいの時間読書を読みますか」という質問で、「全く読書を読まない」と回答した児童生徒は、小学生で25%、中学生で50%を超えています。

言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする読書習慣の育成は大きな課題であり、国語

の学力「読むこと」「書くこと」と大きく関わっているように思われます。新聞、雑誌など、活字のある生活を始めましょう。
教育委員会では、「家庭教育・子育て10実践（実践）」を配布しています。学習時間や一家団らの時間、睡眠時間など子どもの成長にあった1日の生活リズムを育みましょう。

立腰指導

栗山中学校では、
①集中力や持続力を育成すること
②健康的な生活をする
③体幹を鍛えて体力を向上させること
④自然な身のこなしや立ち振る舞いを身に付けること
⑤言葉遣いが美しくなることを目指して、「立腰」（腰骨を立てる）に取り組んでいます。
背骨を伸ばし、集中して学習に立ち向かう生徒の姿が見られるようになってきました。



栗山中学校
高田恭介教諭

版画にみる
ふるさとの
昔の暮らし

牛田克彦
版画作品
巡回展

元栗山小学校教頭の牛田克彦氏が、昭和20～30年代の暮らしを描いた版画作品を展示します。今回展示する作品は、町に寄贈された作品です。

カルチャープラザ「Eki」

◆期 間 2月11日(木)～15日(月)
◆時 間 午前9時～午後10時

南部公民館

◆期 間 2月17日(水)～21日(日)
◆時 間 午前9時～午後10時
※日曜日は午後5時まで

角田農村環境改善センター

◆期 間 2月23日(火)～28日(日)
◆時 間 午前9時～午後10時
※日曜日は午後5時まで

◆入 場 料 無料

◆問い合わせ

町教育委員会社会教育グループ
☎ 1117

健康
ストレッチ
ヨーガ教室

スポーツ
センター
教室

札幌健康ストレッチヨーガ愛好会代表の渋谷和子先生によるヨーガ教室です。ヨーガのほかに中国の気功体操も取り入れ、健康維持や心身のリラクセスに最適な運動指導をします。

日 時

3月8日(火)、15日(火)、29日(火)
午前11時～午後0時30分

場 所

スポーツセンター

対 象

20歳～70歳の町民
札幌健康ストレッチヨーガ愛好会
代表 渋谷和子氏



受講料

1500円
(入館料含む)

申込期限

3月4日(金)(定員10人)

申込先・問い合わせ

スポーツセンター ☎ 6161

図書館へ行こう!!

求人情報誌を設置しています

- ・月刊ハローワーク地域別求人情報
- ・an weekly 北海道版
- ・障がい者のための就職情報誌クローバー
- ・ユーキャン

※ハローワーク、ユーキャンは無料でお持ち帰りできます

図書館ホームページで地図を公開しています

図書館ホームページ上の【くりやまデジタル資料】をクリックすると、下記の複製地図が閲覧できます。

- ・夕張郡角田村一般地図（出版年不明）
- ・栗山町鳥瞰図（1952年）
- ・開基70周年町政施行10周年記念世帯主事業所所在及名入栗山全図（1960年）

町図書館ホームページURL：

<https://library.town.kuriyama.hokkaido.jp/index.asp>

【問い合わせ】 町図書館 ☎ 72-6055

たのしく体験 町民ふれあい講座

今回は岩崎真智子先生に教わる、ひな祭りリース作り講座です。ラタンという紙紐のリースの土台に花やリボンなどで飾り付けを行います。

■日 時 2月17日(水) 13:30～15:30

■場 所 カルチャープラザ「Eki」

■定 員 10人

■受講料 1,000円
(材料費含む)

持ち物

はさみ、作品を持ち帰る袋

※グルーガンをお持ちの方は持参ください

■申込期限 2月13日(土)

■申込先・問い合わせ

カルチャープラザ「Eki」 ☎ 73-3333



待望のオープン＊栗山町スキー場

雪不足のためオープンを約1カ月延期していた栗山町スキー場がオープンしました。積雪量が少なく、滑走できるのはファミリーコースの一部のみでしたが、待ちわびた多くのスキーヤーが雪の感触を楽しみました。初めてスキー場に来た佐古愛心さん(6歳)は「上手になったらリフトに乗ってみたい。山のてっぺんから滑って下りるのが今年の目標です」と話していました。(1月16日)



◆営業時間：9：00～17：00

◆リフト券

1回券	小・中学生	50円
〃	高校生以上	100円
回数券(11回)	小・中学生	500円
〃	高校生以上	1,000円
1日券	小・中学生	1,000円
〃	高校生以上	1,500円
シーズン券	小・中学生	10,000円
〃	高校生以上	15,000円

姉妹都市角田市を訪問＊勤労青年国内研修



栗山町の青年研修団が姉妹都市である宮城県角田市を訪問しました。メンバーは青年会議所と4Hクラブ、青年団体協議会の有志6人。角田市内のシンケンファクトリーで開かれた歓迎会で、大友喜助角田市長から「角田市の歴史ある文化に触れ、多くの方々と交流し、見聞を広げてください」と歓迎の言葉を受け、研修はスタート。3日間の日程で国指定の重要文化財である高蔵寺をはじめ、郷土資料館や宇宙関連施設のコスモハウスなどの施設見学、地元青年団体との交流、東日本大震災で被災した宮城県石巻市の視察を行いました。

研修を終え、西岡政則団長(青年会議所所属)は「研修を通じて、角田市長をはじめとする多くの方々と出会いました。同じ想いをもち活動する角田市の青年団と交流をする機会もあり、多くの学びを得ることができました」と今回の研修を振り返り話していました。

(1月15日～18日)

水の大切さを学ぶ＊コカ・コーラキャンプ



限りある水資源について考える「Be Startup コカ・コーラキャンプ」が、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスを拠点に行われました。地元栗山をはじめ、東京や大阪など全国から集まった中高生17人が参加。使った水を自然にかえす日本コカ・コーラ株式会社の「WATER NEUTRALITY(ウォーター・ニュートラルィー)」の取り組みやハサンベツ里山での冬の湧水にすむ生き物調査などを通じて、北海道の水資源について理解を深めました。

(12月27日～29日)

頼もしい助っ人＊地域おこし協力隊が学習指導



栗山町地域おこし協力隊として農業研修を行っている北海道大学の学生3人が、継立地区の小中学生に学習指導を行いました。来年度から本格実施される、「コミュニティスクール」の一環として実施。のべ40人が冬休みの課題や学習ドリルなどを持ち寄り、わからない点を質問し、北大生から丁寧な解説を受けました。参加した照井悠生君(7歳)は「漢字を教えてもらいました。また一緒に勉強したい」と笑顔で話していました。

(1月12日～16日)

高齢者へ心のこもったプレゼント＊栗山高校



栗山高校の3年生4人が、南部公民館で開かれた継立ふれあいサロン参加者44人に手作りしたネックウォーマーとメッセージカードをプレゼントしました。同サロン代表の柴田隆雄さん(76歳)は「手作りの素晴らしいネックウォーマーをいただき本当にありがとうございます。皆さんの顔を浮かべながら使いたいと思います」とお礼を述べ、学生代表の鈴木康太さん(18歳)は「高齢者の方と関わるのが少ないので、このような交流ができてとてもうれしいです」と笑顔で話していました。

(12月24日)

春までぼくがお父さん＊10組がサケの里親に



サケ稚魚の放流に取り組む夕張川自然再生協議会が、放流するサケを卵から育ててもらおうと、希望した10組にそれぞれ20粒の卵を託しました。参加者は雨煙別川で4月に行われる放流会まで「サケの里親」として水の管理や餌やりなどを行います。卵は10日程度でふ化する見込みで、放流時には8センチほどになる予定です。昨年に続いて里親になる中山大輔君(13歳)は「温度調節が難しいけど、春まで大切に育てたい」と話していました。

(12月26日)